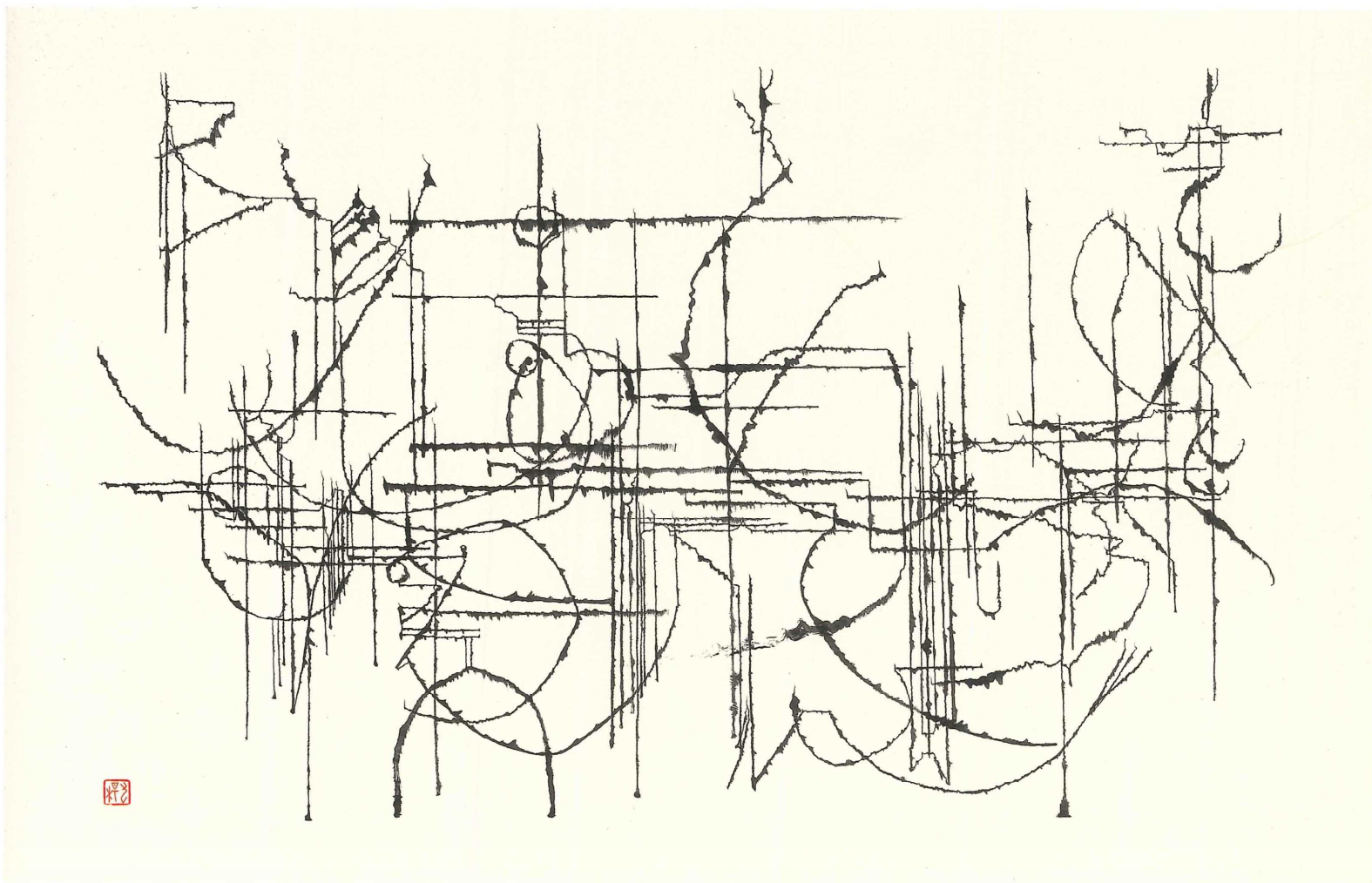


# 源氏物語と日本古典文学

## 石川九楊展



「源氏物語書巻五十五帖 浮舟」2008年

「源氏物語書巻五十五帖」全作品を公開

**【会場】** 1階・特別展示室、3階・書道美術常設展示室

**【開館時間】** 9:30~17:00

**【休館日】** 月曜日。月曜が祝日・振替休日の場合はその翌日。

**【観覧料】** 一般 520円(410円) 高校・大学生360円(290円) 小・中学生 260円(200円)  
( )内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日・秋休み期間中は無料。  
高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

**【主催】** 徳島県立文学書道館

**【後援】** 徳島県教育委員会・徳島新聞社・四国放送

2024.10/5 [土] → 11/17 [日]

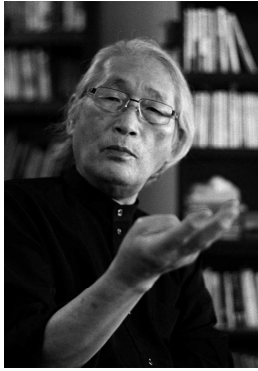
言の葉ミュージアム 徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540

メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp





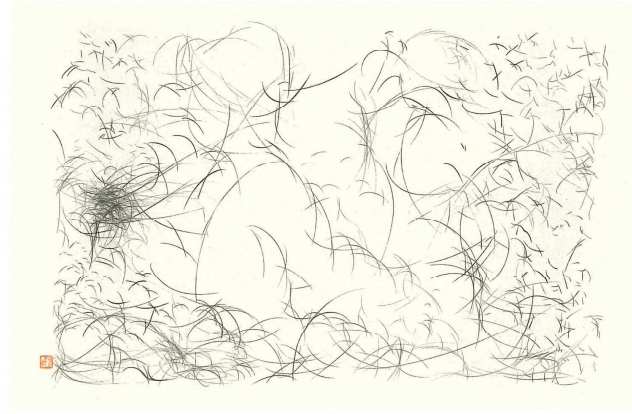
# 石川九楊

いしかわ・きゆうよう

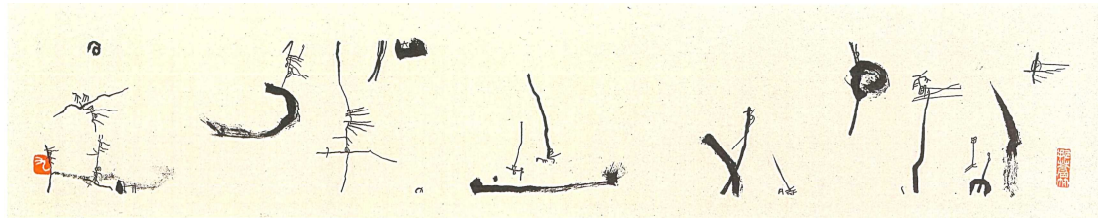
撮影 高橋亨



「源氏物語書卷五十五帖 若菜上」2008年



「源氏物語書卷五十五帖 蛭」2008年



「徒然草 No.9」1988年

書家で評論家の石川九楊は、現代における書の表現を追い求め、これまでに2000点を超える作品を制作しています。筆と紙の接点に生じる力のやりとりの劇<sup>ドラマ</sup>〈筆蝕<sup>ひつしやく</sup>〉に書の美の源泉があることを解明し、評論と制作を通して現代美術のような独自の世界観を持つ書を生み出し続けています。本展では「源氏物語書卷五十五帖」の全作品を公開するほか、「歎異抄」「徒然草」「方丈記」など日本の古典文学を題材にした作品、あわせて約70点を展示し、独創性あふれる石川九楊の世界を紹介します。

1945年、福井県生まれ。京都大学法学部卒業。京都精華大学教授、文字文明研究所所長を経て、現在、同大学名誉教授。「書は筆蝕の芸術である」とことを解き明かし、書の構造と歴史を読み解く。評論家としても活躍し、日本語論、日本文化論は各界にも大きな影響を与える。作品制作・執筆活動、いづれの分野でも最前線の表現と論考を続け、制作作品は2000点以上、著作刊行は100点を超える。

## ■交通アクセス [JR徳島駅から]

### 徒歩で約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

### タクシー・自動車約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つめの信号を右折して約300m。

### バス

[徳島市営バス]7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗り。

「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

[徳島バス]15番乗り場「前川経由」に乗り。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

■徳島阿波おどり空港からJR徳島駅までリムジンバスで約25分

■駐車場 当館北側・南側 (62台・大型バス2台)。

## ■関連イベント

### 講演会「ひらがなの世界」

日時 10/6(日) 14:00~15:30

講師 石川九楊

※定員150人。申込締切9/20(金)。

申込方法/はがき・FAX・メールのいずれかに「石川九楊 講演会希望」と明記のうえ、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、お申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

### 展示解説

日時 10/20(日)・11/2(土) 各11:00~11:30

講師 松山佳代 (当館学芸員)

